早稲田大学中央図書館開館25周年記念シンポジウム

日本における学術出版社と図書館の役割、その未来

日　時：2016年12月12日（月）　14：00 ～ 16：30

場　所：早稲田大学 大隈記念講堂 小講堂（東京都新宿区戸塚町1-104）

受　付		13：30～14：00
開会挨拶	早稲田大学図書館長　深澤 良彰	14：00～14：10
第一部　講演		14：10～15：10
総合学術センターとしての研究大学図書館 ― 図書館における「出版サービス」		14：10～14：40
	ミシガン大学大学院図書館日本学研究司書	横田カーター 啓子 氏
出版流通の変化からみた大学出版の課題		14：50～15：10
	東京大学出版会営業局長	橋元 博樹 氏
《 休　憩 》		15：10～15：30
第二部　パネルディスカッション		15：30～16：25
ファシリテーター	早稲田大学図書館事務部長	荘司 雅之
パネリスト	ミシガン大学大学院図書館日本学研究司書	横田カーター 啓子 氏
	東京大学出版会営業局長	橋元 博樹 氏
	岩波書店新書編集部編集長	永沼 浩一 氏
	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	和田 敦彦 氏
閉会挨拶	早稲田大学図書館副館長　田中 久稔	16：25～16：30
《 終　了 》		16：30

総合学術センターとしての研究大学図書館
― 図書館における「出版サービス」

横田カーター 啓子

ミシガン大学大学院図書館日本学研究司書・日本研究センター所員



ミシガン大学での図書館サービスの向上を中心に、北米・欧州・日本の図書館関係者、資料スペシャリスト、デジタル人文学研究者、電子資料開発者と協力して、人文・社会科学分野における多様な形態の日本語資料の収集と保存、アクセス保証、研究成果発信促進に努め、日本研究学術資料のグローバルな普及と日本研究発展に従事する。日本研究センター所員として日本理解の深化にも努めている。

経　歴

津田塾大学国際関係学科卒業。西ワシントン大学フェアヘヴンカレッジで女性学を専攻。大阪府立高校にて英語教諭。スタンフォード大学教育大学院国際開発教育修士号取得。コーネル大学、アマースト大学、スミス大学、ハーバード大学・ミドルベリー大学（夏季）で、日本語講師。その後、ミシガン大学情報大学院図書館情報学修士号を取得し情報スペシャリストになる。OCLC の公立図書館向け日本語図書業務委託に従事。ワシントン大学図書館日本学研究司書（1999-2012）を経て、現職。

東アジア図書館協議会日本資料委員会委員長（2004-2008）、　北米日本研究資料調整協議会(NCC) 電子資料委員会委員長(2008-2009)、会長（2011-2013）を務める。

講演要旨

人文・社会科学分野でもデジタル資料が多く利用されるに伴い研究方法も変化している。人文学研究で「データ」は、デジタル化されたテキスト、地図、設計図を含む画像、映像、音源、統計などを対象にする。すべての研究者は資料収集や電子テキストの利用など、何等かの形で「デジタル学術」に従事している。デジタル学術時代での図書館サービスの重要課題は、（1）資料の収集と保存、（2）研究課程で作成されるデータと研究成果としてのデータは助成金取得と論文出版条件として保存・共有が義務付けられているため、さらなるデータの再利用のためにも半永続的な基盤保証が必須化、（3）デジタル研究のリサーチデザインとツールの技術的サポート、（4）資料・データに付随するライセンスの整備、などである。

北米学術コミュニティでは publishing は「public、公けにする」という意味で、scholarly communication、図書館資料や研究成果のオープンアクセスによる共有化も含んでおり、商業的な「出版」よりも広い意味で使われる。デジタル学術時代の研究の新しい出版形態として、ミシガン大学プレスによるマルティメディア電子書籍プラットフォーム、Flucrum を簡単に紹介する。

参考資料

○　ミシガン大学図書館 Deep Blue　https://deepblue.lib.umich.edu/

○　Fulcrum.org　https://www.fulcrum.org/

○　横田カーター啓子. 知の創造基盤としての図書館 : ミシガン大学大学院図書館. 図書館雑誌. 2016, vol.110, no.7, p.436.

○　プロファイル　http://www.lib.umich.edu/users/kyokotac

出版流通の変化からみた大学出版の課題

橋元 博樹

東京大学出版会営業局長



1967 年生まれ。㈱青土社営業部勤務を経て、2000 年東京大学出版会入職、書店営業、取次営業、HP 運営、電子書籍事業などを経験し 2010 年より現職。日本出版学会理事、大学出版部協会理事、NPO 法人本の学校理事、人文会幹事。共編著に『白書出版産業 2010』(2011 年、文化通信社)、『読書と図書館』(2008 年、青弓社)。論文に「学術書市場の変化と電子書籍」(『情報の科学と技術』,2015)、「2000 年代の出版流通論」(『出版研究』,2014) がある。

一般財団法人東京大学出版会は 1951 年創業の大学出版部。南原繁総長の発意のもと東京大学教員の有志によって設立され、現在では人文・社会・自然分野の学術書を中心に年間 100 点強の書籍を刊行している。創業以来の刊行点数はおよそ 7000 タイトルにおよぶ。最新の電子出版事業に『三菱社誌』NetLibrary 版がある。

講演要旨

日本における大学出版部は一般財団法人、株式会社、大学の部局など、その組織形態は多様でありながらも、一様に独立採算制の商業出版社として存在してきた。大学のなかに軸足をおきながらも、一般の学術出版社ないし他分野の商業出版社とならぶ出版産業の一員として学術書を刊行してきたのが日本の大学出版である。しかし、昨今の「出版不況」による流通危機から、活動の持続性を疑問視する声もある。本講演では、学術書の刊行にあたって、日本の出版流通が総体としてひろく果たした役割を、歴史的経緯をもふまえながら論じ、その変化の様相と、直面している危機を明らかにする。そして、東大出版会の電子書籍の取り組みもあわせて紹介し、印刷本・電子書籍ともに出版活動の持続性を担保するための条件を、おもに流通の側面から考える。

参考資料

○　橋元博樹. 学術書市場の変化と電子書籍. 情報の科学と技術. 2015, vol.65, no.6, p.244-250.



早稲田大学図書館の歴史は、大学が東京専門学校として創立され、その建物の一部に図書室が設置される 1882 年に始まります。1902 年には東京専門学校が早稲田大学と名称を変更し、大学として組織の整備がすすめられるなかで「図書室」ははじめて独立した施設を持つにいたり「早稲田大学図書館」は新たなスタートをきることになりました。

そして 1991 年、「総合学術情報センター」の一部として現在の中央図書館が開館しました。2016 年は開館 25 周年という節目の年にあたり、これを記念して各種記念事業を実施するものです。

早稲田大学中央図書館開館 25 周年記念事業ウェブサイト
https://www.waseda.jp/library/libraries/central/central25th/

25 年間の『進化』 ～新しい革袋に盛れない新しい酒

早稲田大学図書館長　深澤 良彰



現在の中央図書館ができて、早いもので 25 年が過ぎました。

この中央図書館の場所には、1902 年開設の安部球場（戸塚球場）があり、日本野球の草創期に学生野球を中心に使用されていました。日本で初めて照明が設置され、ナイターが行われたり、1943 年 10 月 16 日には、戦地へ赴く学生たちによる出陣学徒壮行早慶戦が行われたり、単に一大学の野球部の練習グラウンドとしては表すことができない重要な施設でした。

この球場を、創立 100 周年記念事業として、学の殿堂である図書館、国際会議場へと変えた大学執行部の高い見識に敬意を払いたいと思います。また、これに際しては多くの皆様からの寄付金をいただき、感謝の念に堪えません。建設された頃の図書館は、ある企業のテレビコマーシャルに使用されるなど、荘厳な感じさえするものでした。そして、この感覚は今も変わりません。

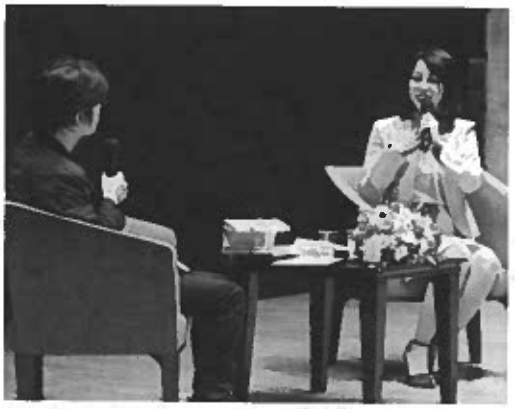
一方、この 25 年の間に、図書館が保持する学術情報、それらを使用する教員・学生の研究教育活動には大きな変化がありました。図書館としては、当然、これらの事実・要求に応えなければなりません。

新約聖書に基づく諺に、「新しい酒は新しい革袋に盛れ」があります。しかし、図書館の新しい利用法のために、図書館を新たに作ることは容易ではありません。「新しい酒」でも、「古い革袋」に盛らなければいけないのです。このためには、「古い革袋」を現在の要望に合うように変えながら、使いこなしていかなければなりません。そして、それは、新しい図書館を建設することよりも難しいものだと思います。

これに挑戦していくことこそが、今後の中央図書館の使命だと思います。

記念イベント

講演会「私と図書館」



日時：2016 年 10 月 21 日（金） 15:00-16:30
会場：早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール

本学出身で芥川賞作家の綿矢りさ氏（教育学部卒）、堀江敏幸教授（文学学術院）の 2 名による、対談形式の講演会。約 550 名の来場者を前に、中央図書館開館前の旧図書館の思い出や、在学時から現在に至るまでの図書館の思い出、執筆に対する姿勢などが語られ、質疑応答を通じ、在学生との交流も行われた。

シンポジウム「日本における学術出版社と図書館の役割、その未来」

日時：2016 年 12 月 12 日（月） 14:00-16:30 ※本日開催
会場：早稲田大学 大隈記念講堂 小講堂

大学図書館と出版の関係から、日本の学術情報流通を考えるシンポジウム。横田カーター啓子氏（ミシガン大学大学院図書館日本学研究司書）、橘元博樹氏（東京大学出版会営業局長）の講演をもとに、永沼浩一氏（岩波書店新書編集部編集長）、和田敦彦教授（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）をパネリストに迎えて議論を行う。※本日の動画、資料などは、後日ウェブサイト（https://www.waseda.jp/library/news/2016/10/04/2161/）に掲載いたします。

特別プロジェクト

360°VR（バーチャルリアリティ）コンテンツ作成プロジェクト



一般の利用者は普段目にすることのできない中央図書館の自動書庫と、古典籍の蔵書である『源氏物語絵巻　四季源氏』『敦盛絵巻』を選定し、360°VR 映像を制作した。専用ビュワーを使用することで、360°かつ 3D で奥行きのある映像を視聴可能となる。3D 化技術を用いた 360°映像の制作をはじめ、VR 空間での視線の誘導や物語の進行など、実験的な制作・表現手法を導入している。

早稲田大学理工学術院の河合隆史教授および河合研究室全面協力の基、研究室出身の太田啓路氏が代表を務める株式会社リ・インベンションによって映像およびビュワーが作成された。図書館と理系研究室という、文理融合・産学連携による体制、VR の特性を活かした文化財・文化施設のコンテンツを提案・実証するプロジェクトが実現した。

以下のウェブサイトよりコンテンツを視聴頂けます。

夢の融合プロジェクト 中央図書館 25 周年記念 VR（バーチャルリアリティ）動画
https://www.waseda.jp/library/news/2016/10/03/1750/

記念展示

写真展 「図書館今昔」

会期：2016 年 10 月 3 日（月）～10 月 31 日（月）会場：中央図書館 2 階エントランスホール

建学当時から中央図書館開館までの早稲田大学図書館の軌跡を振り返る写真展示。1882 年東京専門学校開校当時の図書室から始まり、旧図書館（現在の高田早苗記念研究図書館）時代の閲覧席や図書館業務の様子、旧図書館から中央図書館への移転作業など、貴重な記録写真を数多く展示した。 **※本日、会場の廊下にて一部を展示しています。ぜひご覧ください。**

中央図書館開館 25 周年記念展示

早稲田大学図書館では、直に目にする機会の限られる古籍について、「古典籍総合データベース」によって画像を公開してきた。一方、指定文化財原本については、様々な制約から長らく展観に付すことができなかった。この度、中央図書館展示室を改修し、国宝・重要文化財を含めた“名品”と、開館後新たに収蔵した資料の中から選りすぐりの館蔵資料を展示する。装いも新たな図書館展示室で、図書館伝来の貴重な資料の数々をご堪能頂ける機会となっている。

会場：早稲田大学総合学術情報センター2 階展示室（どなたでもお入り頂けます）

第 1 期（2017 年 3 月 17 日～4 月 5 日）

卒業式・入学式に合わせ、国宝 2 点、重要文化財 5 件を一堂に集めて展示する。今回、20 数年ぶりに国宝原本展示の運びとなる。

出陳予定：『玉篇 第九巻』（国宝）、『礼記子本疏義巻 第五十九巻端断欠』（国宝）、『尾張国郡司百姓等解文』（重文）、など

第 2 期（2017 年 4 月 10 日～4 月 27 日）

和書を中心に資料選定し、展示を行う。25 周年記念事業として制作した VR コンテンツに使用されている資料も出陳し、“リアル”な原本との両極をご覧いただける機会となる。

出陳予定：『敦盛絵巻』、『源氏物語絵巻　四季源氏』、など



『源氏物語絵巻　四季源氏』

第 3 期（2017 年 5 月 10 日～5 月 31 日）

漢籍、準漢籍、洋書ほか、海外文化の香りを帯びた資料を選定して展示する。

出陳予定：『分類補註李太白詩』『Mirrour of the blessed lyf of Jesu Christi』、など

ノベルティグッズ

クリアファイル（全４種）

早稲田大学中央図書館、および図書館所蔵資料をデザインにあしらった、特製クリアファイル。中央図書館セルフツアーに参加した学生に無料で配布。デザインが好評であったため、大隈講堂前の 125 ショップで一般向けにも販売している。

早稲田大学図書館今昔
表面に現在の中央図書館、裏面に旧図書館および早稲田大学校歌（相馬御風書）を配置。

素石歳旦：読書猪図
俳人為山（1804-1878）などによる俳諧摺り物に、小林永濯（1843-1890）が、ランプのもと横文字の本を読む洋装の猪の姿を描き、文明開化をユーモラスに表現している。



南総里見八犬伝
第 1 輯、第 9 輯からさまざまな犬の挿絵を抜粋。裏面には、曲亭馬琴（1767-1848）の直筆から、亡き息子宗伯の妻・路の筆へと切り替わる草稿部分を掲載。

Myrrour of the Blessed Lyf of Jesu Christ（イエス・キリストの祝福されし生涯の鏡）
『キリストの生涯の瞑想』Meditationes vitae Christi を、15 世紀にイギリスのニコラス・ラヴ（Nicholas Love）が中世英語に翻訳したものの写本。

本の防水バッグ



書籍が入る大きさのビニール素材バッグを作成し、図書館内で利用者に配布。雨の日には、ZIP つきの防水バッグも配布している。本を大切にしてほしいとの思いから作成され、利用者からも大変好評を得ている。

早稲田大学図書館オリジナル VR ビュワー

VR コンテンツ作成プロジェクトの一環として作成。新入生歓迎イベント「Library Week」や、10 月に開催した中央図書館開館 25 周年記念講演会などで学生に無料で配布。





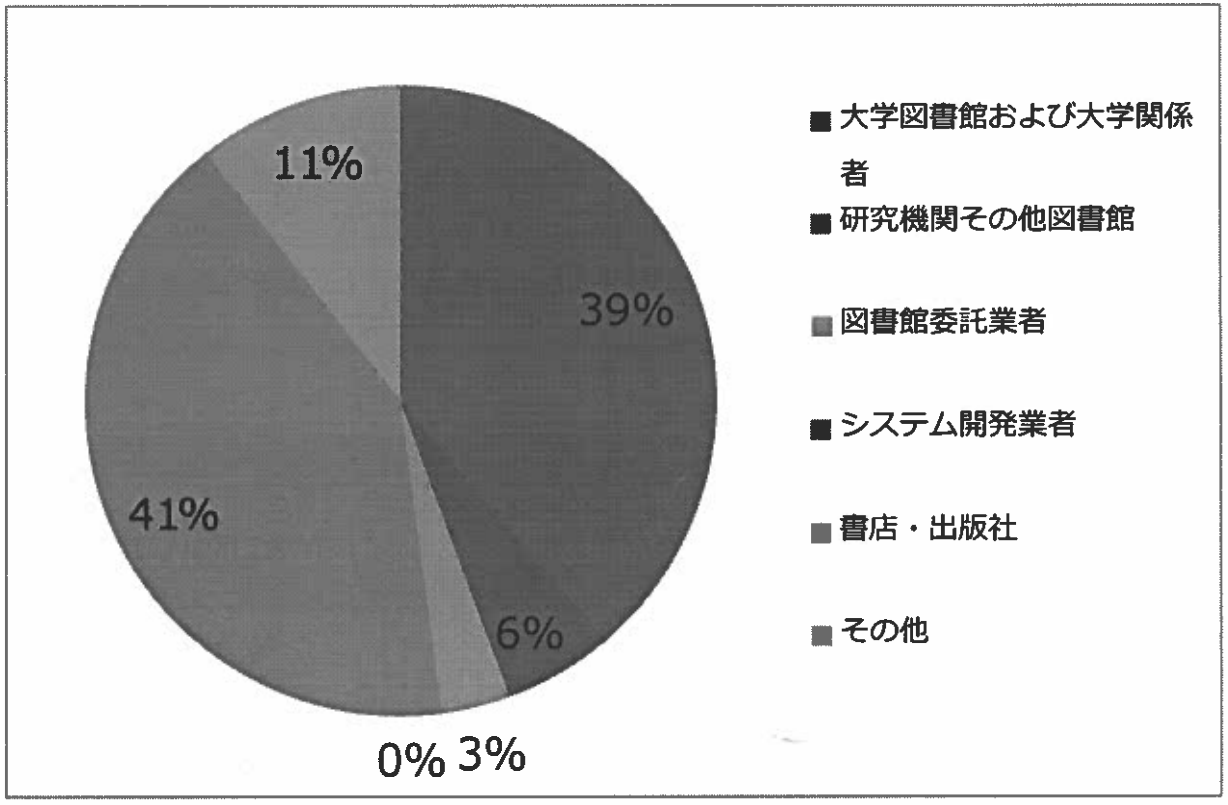
Waseda University Library
早稲田大学 図書館

2016/12/12 9:03

中央図書館開館25周年記念シンポジウム　申し込み者集計

■ **参加種別**

大学図書館および大学関係者	55
研究機関その他図書館	8
図書館委託業者	5
システム開発業者	0
書店・出版社	59
その他	15
計	142



中央図書館開館25周年記念シンポジウム　受付名簿　　2016/12/12 9:02現在

No.	出欠chk	索引	氏名	氏名ヨミ	所属
1		ア	明石悠佳	アカシユカ	日本出版貿易株式会社海外事業部営業二部
2			赤山みほ	アカヤマミホ	筑波大学大学院
3			安部正幸	アベマサユキ	丸善雄松堂株式会社
4		イ	飯塚桂子	イイツカケイコ	国立大学法人筑波大学　学術情報部情報企画課出版会
5			池谷のぞみ	イケヤノゾミ	慶應義塾大学文学部
6			石橋正久	イシバシマサヒサ	センゲージラーニング株式会社
7			伊藤ミナミ	イトウミナミ	株式会社サンメディア
8			稲川香於里	イナガワカオリ	東京音楽大学　付属図書館
9			井上さやか	イノウエサヤカ	公益財団法人渋沢栄一記念財団
10			伊能秀明	イヨクヒデアキ	明治大学
11			入村和彦	イリムラカズヒコ	学習院女子大学図書館
12		ウ	魚住英子	ウオズミエイコ	関西学院大学図書館
13			牛口順二	ウシグチジュンジ	(株) 紀伊國屋書店
14			内田直子	ウチダナオコ	神奈川大学
15		オ	大池一則	オオイケカズノリ	オックスフォード大学出版局
16			大石理子	オオイシリコ	愛知県立大学　長久手キャンパス図書館
17			大熊高明	オオクマタカアキ	丸善雄松堂株式会社
18			大矢智子	オオヤトモコ	ワイリー・ジャパン
19			小川寿美子	オガワスミコ	公立大学法人名桜大学
20			荻原浩一	オギワラコウイチ	センゲージラーニング株式会社
21			小山内正明	オサナイマサアキ	IOP英国物理学会出版局
22			小澤幹雄	オザワミキオ	聖徳大学川並記念図書館　事務室
23			小野亘	オノワタル	東京学芸大学
24			小野信也	オノシンヤ	有限会社白水出版センター
25			小野智生	オノトモキ	丸善雄松堂株式会社
26		カ	加賀美裕介	カガミユウスケ	シュプリンガー・ネイチャー
27			笠原裕治	カサハラユウジ	ワイリー・ジャパン
28			風間茂彦	カザマシゲヒコ	慶應義塾大学メディアセンター
29			加藤慎	カトウシン	センゲージラーニング 株式会社
30			加藤宥仁	カトウユウジン	社会人
31			神名川大輝	カナガワダイキ	株式会社 臨川書店
32			加納弘子	カノウヒロコ	専修大学図書館
33			神成田長幸	カミナリタヒサユキ	一般
34			亀井亮介	カメイリョウスケ	早稲田大学文化構想学部学生
35			河上博	カワカミヒロシ	ゆまに書房
36			菅野美香	カンノミカ	丸善雄松堂株式会社
37		キ	岸利幸	キシトシユキ	学習院女子大学図書館
38			岸川俊太郎	キシカワシュンタロウ	早稲田大学
39			木下実菜	キノシタミナ	紀伊國屋書店
40			木村拓	キムラタク	日本アスペクトコア株式会社
41			木村麻美子	キムラマミコ	株式会社キャリアパワー
42		ク	久保田壮活	クボタソウカツ	東京大学
43		コ	小泉享世	コイズミミチヨ	共立女子大学　図書課
44			恋塚嘉	コイヅカヨシキ	八木書店古書出版部
45			郷田孝之	ゴウダタカユキ	株式会社　東京堂出版
46			合戸陽子	ゴウトヨウコ	株式会社紀伊國屋書店
47			古賀めぐみ	コガメグミ	株式会社サンメディア
48			小粥洋美	コガユヒロミ	(株)紀伊國屋書店ライブラリーサービス営業本部カスタマイングサービス部

No.	出欠chk	索引	氏名	氏名ヨミ	所属
49			小久保佳則	コクボヨシノリ	株式会社 文生書院
50			小島陽介	コジマヨウスケ	シュプリンガー・ネイチャー
51			小武勝	コタケマサル	なし
52			小林宏菜	コバヤシヒロナ	東京大学社会科学研究所図書室
53			小谷野哲矢	コヤノテツヤ	(株)八木書店
54			小山憲司	コヤマケンジ	中央大学
55			小山英俊	コヤマヒデトシ	(株) 白水社
56		サ	三枝央	サイグサヒサシ	レタープレス株式会社
57			齋藤秀樹	サイトウヒデキ	日本大学薬学部
58			斎藤嘉	サイトウヨシミ	校友会
59			酒井康隆	サカイヤスタカ	法学部科目等履修生（元・大学院法学研究科学生）
60			作中正喜	サクナカマサキ	丸善雄松堂株式会社
61			佐々木潤	ササキツバサ	早稲田大学法学部
62			佐藤歩	サトウアユミ	成蹊大学図書館事務室
63			佐藤史江	サトウフミエ	早稲田大学
64			佐藤嘉能	サトウヨシカズ	プロクエスト日本支社
65			佐藤時織	サトウシオリ	埼玉県立近代美術館　資料閲覧室
66		シ	塩出郁	シオデカオル	国立情報学研究所
67			柴田昌伸	シバタマサノブ	クレス出版
68			柴田守	シバタマモル	有斐閣書籍編集第２部
69			柴野京子	シバノキョウコ	上智大学
70			渋川穂積	シブカワホヅミ	東京医科歯科大学図書館
71			嶋崎尚代	シマザキナオヨ	昭和女子大学図書館
72		ス	菅原光	スガワラコウ	文部科学省
73			鈴木大介	スズキダイスケ	東京大学文学部
74			鈴木洋仁	スズキヒロヒト	東京大学
75			住谷朝子	スミタニアサコ	株式会社　紀伊國屋書店　学術情報販売促進本部
76		セ	関秀行	セキヒデユキ	慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター
77			仙田佳次	センダケイジ	大空社出版株式会社
78		ソ	十河宏	ソゴウヒロシ	株式会社紀伊國屋書店
79			園部加奈	ソノベカナ	一般社団法人日本消化器外科学会
80		タ	代島弘道	ダイジマヒロミチ	一般
81			高橋真也	タカハシシンヤ	丸善雄松堂株式会社
82			髙山梨沙	タカヤマリサ	早稲田大学社会科学部
83			田口靖子	タグチヤスコ	東京都立中央図書館
84			竹内秀樹	タケウチヒデキ	国立国会図書館
85			武智則之	タケチノリユキ	株式会社ネットアドバンス
86			竹之内彩	タケノウチサイ	東京大学法学部第３類
87			舘野純子	タテノジュンコ	日本文学出版交流センター
88			田中政司	タナカマサシ	株式会社ネットアドバンス
89			田牧文代	タマキフミヨ	ジャパンメディアシステム株式会社
90			田村直祐	タムラナオスケ	株式会社紀伊國屋書店
91		チ	崔珉旭	チェミンウク	早稲田大学訪問研究員
92			千原旭	チハラアサヒ	株式会社　紀伊國屋書店
93		ツ	塚田絵理子	ツカダエリコ	EBSCO Information Services Japan 株式会社
94			塚田洋	ツカダヒロシ	国立国会図書館
95			土屋俊	ツチヤシュン	大学改革支援・学位授与機構
96		テ	寺島淳一	テラシマジュンイチ	白桃書房

No.	出欠chk	索引	氏名	氏名ヨミ	所属
97		ト	時実象一	トキザネゾウイチ	東京大学大学院情報学環
98		ナ	中川宏美	ナカガワヒロミ	明治学院大学図書館
99			中西秀彦	ナカニシヒデヒコ	中西印刷株式会社
100			中野綾子	ナカノアヤコ	早稲田大学
101			中野善浩	ナカノヨシヒロ	丸善雄松堂株式会社
102			中原康介	ナカハラコウスケ	レタープレス株式会社
103			中村美里	ナカムラミサ	国文学研究資料館
104		ニ	西脇亜由子	ニシワキアユコ	明治大学
105		ノ	野口真広	ノグチマサヒロ	早稲田大学 地域・地域間研究機構
106			登明弘	ノボリアキヒロ	株式会社　医学書院
107		ハ	濱崎直	ハマサキスナオ	丸善雄松堂株式会社
108			原真裕	ハラマユウ	株式会社紀伊國屋書店　東京営業本部第三営業部
109			原田隆史	ハラダタカシ	同志社大学
110			原田梨奈	ハラダリナ	日本出版貿易株式会社
111			晴山生菜	ハレヤマセイナ	株式会社皓星社
112		ヒ	比田井都	ヒダイミヤコ	紀伊國屋書店
113			平賀政道	ヒラガマサミチ	明治学院大学図書館
114			平子真治	ヒラコシンジ	エンメラルド・ジャパン
115			平沢桂	ヒラサワケイ	会社員
116			弘中智子	ヒロナカトモコ	日本出版貿易株式会社
117		フ	福島知己	フクシマトモミ	一橋大学社会科学古典資料センター
118			藤井慶子	フジイケイコ	東久留米市立中央図書館
119			藤川孝史	フジカワタカシ	早稲田大学財務部
120			藤巻修一	フジマキシュウイチ	株式会社皓星社
121			藤本系	フジモトケイ	EBSCO Information Services Japan株式会社
122		ホ	堀口優子	ホリグチユウコ	中央大学図書館情報資料課
123		マ	前之園香世子	マエノソノカヨコ	昭和女子大学図書館
124			松川陽野介	マツカワヨウノスケ	Taylor & Francis Group ジャーナル セールスマネジャー
125			松林正己	マツバヤシマサキ	中部大学人文学部
126			松本和子	マツモトカズコ	慶應義塾大学メディアセンター本部
127		ミ	溝口哲彦	ミゾグチテツヒコ	センゲージラーニング株式会社ゲール
128			皆見司朗	ミナミシロウ	名城大学
129		モ	茂出木理子	モデキリコ	東京外国語大学
130			森貴志	モリタカシ	玉川大学出版部
131			森澤正樹	モリサワマサキ	センゲージラーニング株式会社
132		ヤ	八木唯貴	ヤギタダタカ	㈱八木書店
133			八巻豊史	ヤマキトヨフミ	文化学園大学図書館
134			山口修一	ヤマグチシュウイチ	株式会社キャリアパワー
135			山崎猛	ヤマサキタケシ	シュプリンガー・ネイチャー
136			山崎和	ヤマザキナゴミ	千葉大学大学院
137		ヨ	横井正典	ヨコイマサノリ	近現代資料刊行会
138			横山千尋	ヨコヤマチヒロ	横浜商科大学
139			吉澤佑未	ヨシザワユミ	Taylor & Francis Group
140			吉場千絵	ヨシバチエ	神奈川大学
141			米田美代子	ヨネダミヨコ	神奈川歯科大学図書館
142		ワ	渡邉量五	ワタナベリョウゴ	日本出版貿易株式会社